

宝箱はどれか
1つでもOK!



SDGs

2026



エコカルチャレンジ

海の宝箱をひらけ! 海洋プラスチック大作戦

取り組み期間

応募締め切り

5月25日(月) ▶ 6月21日(日) | 6月21日(日)

2~3分で
回答できる内容です

二次元コードを読み取り、
海洋プラスチック問題について
学んでみよう。
サイト内の応募フォームから、
実際に取り組んだ内容を
チェックしてください。

応募いただいた方の中から
抽選で100名様に

愛知で生まれた
ホットケーキミックス(ココア)を
プレゼント!



海をまもる学びの宝箱

宝箱 1



資源をめぐらせる
森の宝

宝箱 4



選んで減らすエコの宝箱

宝箱 2



使い捨てを
減らす冒険

さあ冒険へ 出発だ!

海の宝箱には、未来を守る
ヒントが隠れているぞ

宝箱 3



当選確率が

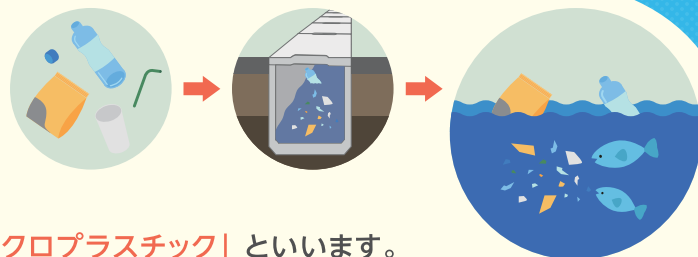
どの宝箱からでも
参加OK!
4つ全部応募で

**4倍に
アップ!!**

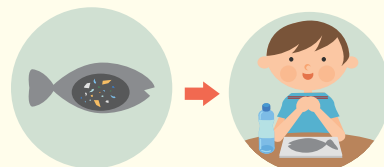


海洋プラスチック問題について考えよう

海岸には、たくさんのプラスチックごみが流れついて問題になっています。その多くは、私たちの街でポイ捨てされたごみが、雨で流され、川をって海まで運ばれたものです。



プラスチックの中でも5ミリより小さいものを「マイクロプラスチック」といいます。とても小さいので、いったん海に流れると集めるのがとても難しく、魚や小さな生き物が食べてしまう心配があります。



その心配されていることって???

- 海の生き物の体がキズついたり、元気がなくなったりすること
 - マイクロプラスチックを食べてしまうことで、生き物の体に負担がかかってしまうんだ。
- プラスチックにくっついた化学物質が体に入ってしまうこと
 - マイクロプラスチックは、周りの化学物質を吸着しやすい性質があり、それが生き物の体に取り込まれる可能性があるよ。
- 食べ物のつながり(食物連鎖)を通じて広がること
 - 小さな生き物が取り込んだマイクロプラスチックが、魚へ、そして私たちの体へと移っていく可能性があるんだ。
- 自然の中で長く残り続けること
 - プラスチックは分解されにくく、海に流れ出すと回収が難しいため、影響が積み重なっていく可能性があるんだ。

世界では、2019年だけで約3億5,300万トンのプラスチックごみが出ました。そのうち約2,200万トンは正しく処理されず、自然の中へ流れ出てしまったとされています。



約3億5,300万トンのプラスチックごみ
正しく処理されず、自然の中へ流れ出た約2,200万トンのプラスチックごみ

この動画を見てみてね



(環境省 2024、政府広報オンライン 2025、ecojin「海がプラスチックで溢れる」参照)

ご協力ください コープあいちでもリサイクル回収をしています



私たち一人ひとりの行動が、海を守る力になるんだ
ごみを分けて出す、ポイ捨てをしない、使いすぎたプラスチックを減らすことから始めてみよう!

